

第11章 昼間人口

1 昼間人口

昼間人口は320万人。昼夜間人口比率は90.4と横ばいに推移

平成17年における横浜市の昼間人口は320万5144人で、12年に比べ11万3978人(3.7%)増加しました。一方、夜間人口(常住人口)は354万5447人で、12年に比べ13万587人(3.8%)増加しています。この結果、昼夜間人口比率(夜間人口100人当たりの昼間人口)は90.4となっています。

昭和30年以降の推移をみると、昼間人口を上回る夜間人口の伸びにより、昼夜間人口比率は昭和30年の99.6から低下傾向が続き、平成2年には88.7まで低下しました。しかし、7年には一転して89.7に上昇し、12年はさらに0.8ポイント高い90.5と、昭和50年代の水準に戻っており、17年はほぼ横ばいとなっています。(表11-1、図11-1)

図11-1 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移(昭和30年～平成17年)

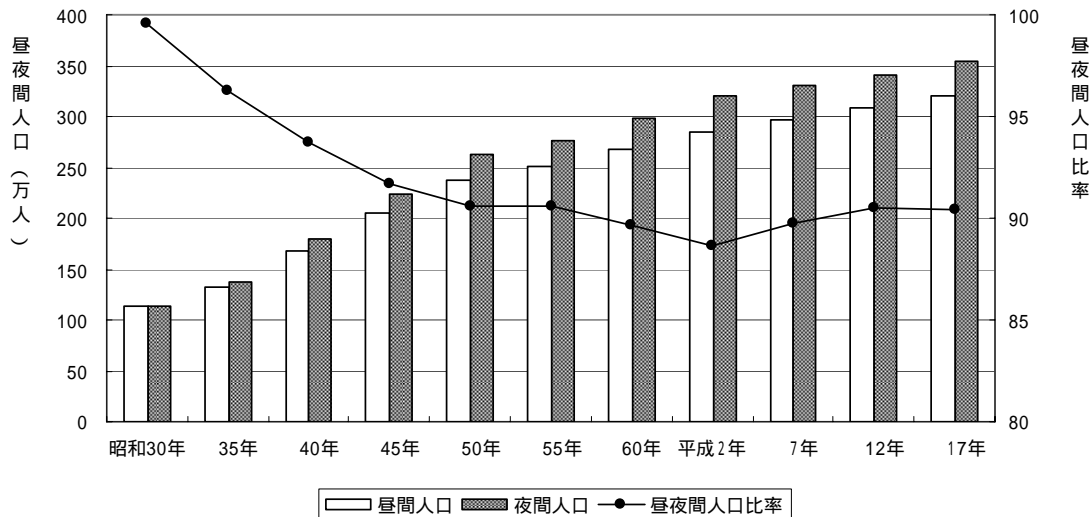


表11-1 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移(昭和30年～平成17年)

年次	夜間人口(常住人口)		流入人口	流出人口	流入超過人口	昼間人口		昼夜間人口比率
	A	対前回増減率				B	C	
昭和30年	1,143,687	...	72,419	77,415	4,996	1,138,691	...	99.6
35年	1,375,710	20.3	119,821	170,990	51,169	1,324,541	16.3	96.3
40年	1,788,915	30.0	169,024	281,542	112,518	1,676,397	26.6	93.7
45年	2,238,264	25.1	207,585	393,135	185,550	2,052,714	22.4	91.7
50年	2,621,771	17.1	240,246	486,023	245,777	2,375,994	15.7	90.6
55年	2,770,880	5.7	276,415	536,465	260,050	2,510,830	5.7	90.6
60年	2,990,133	7.9	315,923	625,723	309,800	2,680,333	6.8	89.6
平成2年	3,203,195	7.1	382,389	745,332	362,943	2,840,252	6.0	88.7
7年	3,303,708	3.1	420,490	760,326	339,836	2,963,872	4.4	89.7
12年	3,414,860	3.4	406,931	730,625	323,694	3,091,166	4.3	90.5
17年	3,545,447	3.8	399,345	739,648	340,303	3,205,144	3.7	90.4

注1) 昭和55年以降の昼間人口及び夜間人口は、年齢不詳のものを集計から除いているため、常住地による人口は当該地域の確定人口とは一致しないことがある。

このため、夜間人口(常住人口)と国勢調査確定人口とは一致しない。

2) 昭和30年～50年の流入人口・流出人口は、15歳未満を含まないが、それ以降は15歳未満通学者を含む。

3) 流入人口・流出人口には、行政区間の移動は含まれない。

2 行政区の昼間人口

西区、中区の中心区で昼夜間人口比率が180を超え、その他の区では100を下回る

行政区別の昼間人口をみると、港北区が28万5465人で最も多く、以下、中区が25万485人、鶴見区が24万4497人、戸塚区が22万2150人などとなっています。また、昼間人口が夜間人口を上回っているのは、西区と中区の2区となっています。

昼夜間人口比率を区別にみると、西区が198.8で、全国の市区町村の中で第11位（神奈川県内で1位）と高くなっており、中区が182.9と、同19位（同2位）となっていますが、その他の区では100を下回っています。一方、昼夜間人口比率が低い区をみると、栄区及び泉区が73.5と最も低く、次いで青葉区の75.1、港南区の75.8、旭区の75.9と郊外区が続いています。

昼夜間人口比率を平成12年と比べると、旭区が3.1ポイント、泉区が3.0ポイント上昇するなど11区で上昇しています。一方、低下したのは7区で、このうち中区が19.4ポイント、西区が11.0ポイントと大きく低下しています。（表11-2、図11-2）

図11-2 行政区別昼夜間人口比率（平成17年）

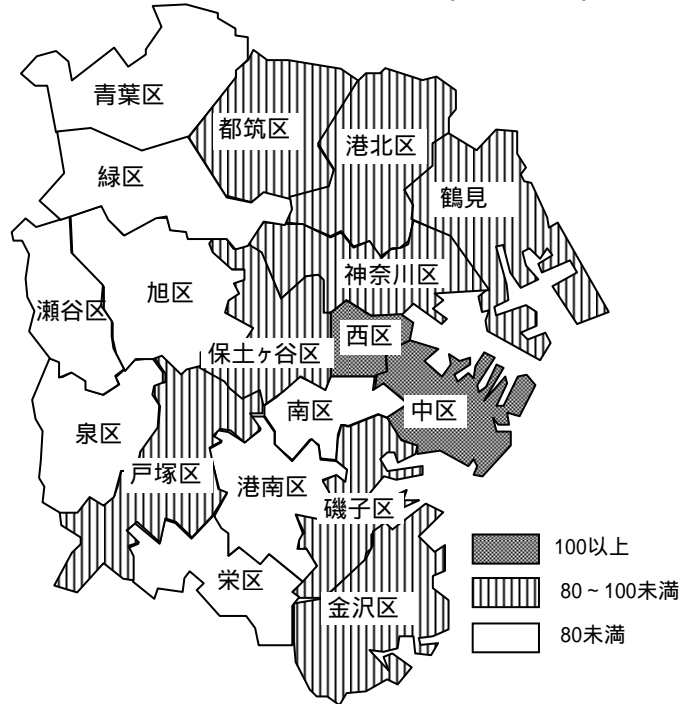


表11-2 行政区別昼夜間人口及び昼夜間人口比率（平成17年）

行政区	夜間人口 (常住人口) A	流入人口 B			流出人口 C			流入超過人口 B-C	昼間人口 D=A+(B-C)	昼夜間人口比率 D/A×100	
		就業者	通学者		就業者	通学者				平成12年	平成17年
横浜市	3,545,447	399,345	345,411	53,934	739,648	653,121	86,527	340,303	3,205,144	90.4	90.5
鶴見区	262,828	74,491	67,050	7,441	92,822	82,973	9,849	18,331	244,497	93.0	95.5
神奈川区	221,353	86,306	69,041	17,265	87,024	77,214	9,810	718	220,635	99.7	101.7
西区	83,087	115,212	106,891	8,321	33,121	29,411	3,710	82,091	165,178	198.8	209.8
中区	136,927	150,767	139,496	11,271	37,209	32,224	4,985	113,558	250,485	182.9	202.3
南区	192,090	28,852	23,487	5,365	73,973	66,240	7,733	45,121	146,969	76.5	76.8
港南区	221,244	32,673	29,660	3,013	86,268	76,029	10,239	53,595	167,649	75.8	73.7
保土ヶ谷区	202,707	40,570	32,887	7,683	78,929	69,544	9,385	38,359	164,348	81.1	80.7
旭区	248,764	30,902	26,471	4,431	90,927	80,149	10,778	60,025	188,739	75.9	72.8
磯子区	161,067	32,427	29,591	2,836	64,543	56,818	7,725	32,116	128,951	80.1	78.4
金沢区	209,499	52,477	41,792	10,685	70,831	61,535	9,296	18,354	191,145	91.2	90.3
港北区	306,176	99,862	83,772	16,090	120,573	105,522	15,051	20,711	285,465	93.2	94.5
緑区	169,742	32,671	24,405	8,266	66,981	58,915	8,066	34,310	135,432	79.8	81.7
青葉区	291,420	42,817	32,793	10,024	115,443	98,351	17,092	72,626	218,794	75.1	73.0
都筑区	177,395	59,072	55,230	3,842	61,632	52,507	9,125	2,560	174,835	98.6	98.1
戸塚区	259,567	56,165	49,837	6,328	93,582	81,009	12,573	37,417	222,150	85.6	85.6
栄区	122,265	18,110	14,945	3,165	50,501	44,343	6,158	32,391	89,874	73.5	72.2
泉区	151,988	17,852	14,744	3,108	58,136	50,486	7,650	40,284	111,704	73.5	70.5
瀬谷区	127,328	18,277	15,747	2,530	47,311	42,279	5,032	29,034	98,294	77.2	76.0

注 1) 昼間人口及び夜間人口は、年齢「不詳」を含まない。

2) 通学者は15歳未満を含めている。

3) 市の流入人口には区間流入・流出を含まないため、区の総和とは一致しません。

3 大都市の昼間人口

大都市間で2番目に低い昼夜間人口比率

15 大都市における昼夜間人口比率をみると、大阪市の 138.0、東京都区部の 135.1 が際立って高く、以下、名古屋市の 114.7、福岡市の 113.4 と続いています。一方、昼夜間人口比率が低い都市をみると、川崎市が 87.1 と最も低く、以下、横浜市の 90.4、さいたま市の 91.9、千葉市の 97.2 と続いており、東京都に近接するこれら 4 市だけが 100 を下回っています。

平成 12 年と比べ、昼夜間人口比率は 13 市全てで下降しています。横浜市は平成 12 年に比べて 0.1 ポイント減と、千葉市について下降幅が小さくなっており、昼夜間人口比率の上位各都市と本市との間の比率の格差は縮まっています。(表 11 - 3、図 11 - 3)

図 11 - 3 15 大都市の昼夜間人口及び昼夜間人口比率 (平成 17 年)

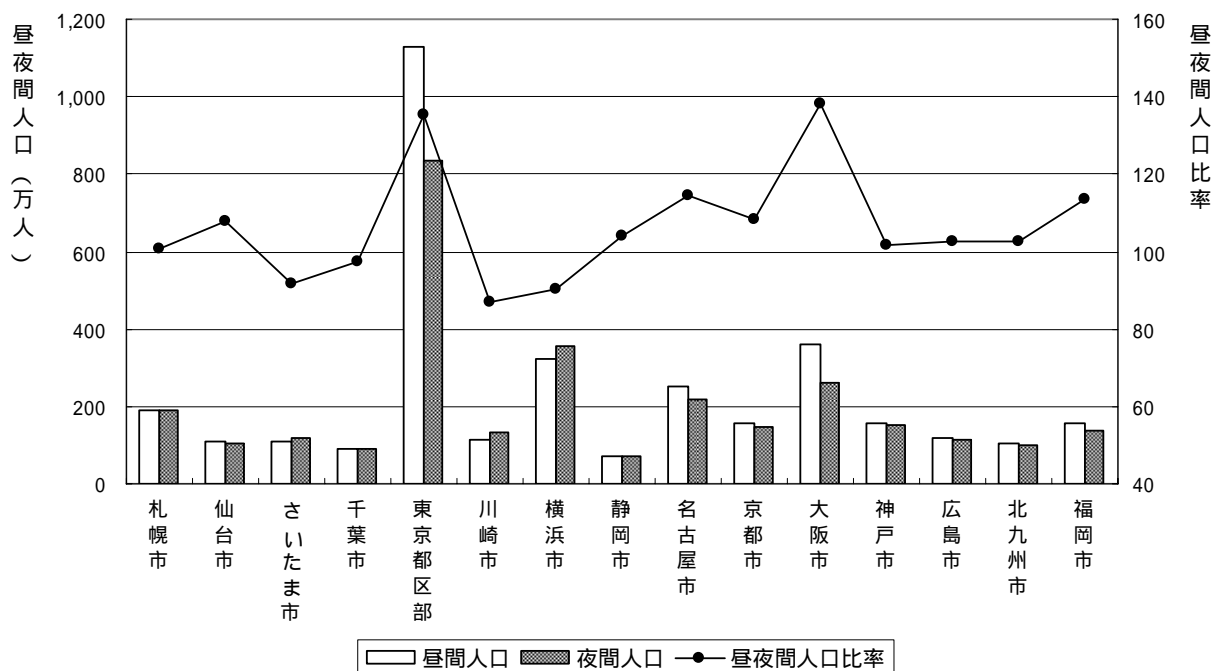


表 11 - 3 15 大都市の昼夜間人口及び昼夜間人口比率 (平成 17 年)

都市名	夜間人口 (常住人口)		流入人口	流出人口	流入超過人口 B-C	昼間人口		昼夜間人口比率	
	A	平成12年				D=A+(B-C)	平成12年	D/A × 100	平成12年
札幌市	1,877,965	1,797,479	85,032	69,051	15,981	1,893,946	1,820,757	100.9	101.3
仙台市	1,020,160	1,007,628	132,564	53,743	78,821	1,098,981	1,090,162	107.7	108.2
さいたま市	1,172,677	...	214,707	309,746	95,039	1,077,638	...	91.9	...
千葉市	919,550	883,008	175,293	200,816	25,523	894,027	858,702	97.2	97.2
東京都区部	8,351,955	8,092,268	3,354,289	421,545	2,932,744	11,284,699	11,125,135	135.1	137.5
川崎市	1,326,152	1,249,029	229,432	401,148	171,716	1,154,436	1,097,090	87.1	87.8
横浜市	3,545,447	3,414,860	399,345	739,648	340,303	3,205,144	3,091,166	90.4	90.5
静岡市	700,575	...	54,675	28,040	26,635	727,210	...	103.8	...
名古屋市	2,193,973	2,148,949	516,793	194,570	322,223	2,516,196	2,514,549	114.7	117.0
京都市	1,460,688	1,454,368	240,589	118,297	122,292	1,582,980	1,584,626	108.4	109.0
大阪市	2,594,686	2,595,394	1,239,051	252,062	986,989	3,581,675	3,664,414	138.0	141.2
神戸市	1,520,551	1,492,143	207,498	180,078	27,420	1,547,971	1,536,716	101.8	103.0
広島市	1,144,498	1,124,765	94,329	64,426	29,903	1,174,401	1,163,405	102.6	103.4
北九州市	992,654	1,010,127	78,115	50,322	27,793	1,020,447	1,044,966	102.8	103.4
福岡市	1,384,925	1,336,662	262,548	76,289	186,259	1,571,184	1,531,174	113.4	114.6

注 1) 昼間人口及び夜間人口は、年齢「不詳」を含まない。
 2) 流入人口・流出人口には、行政区間の移動は含まれない。